



現場のプロに聞く東南アジアへの日本産食品輸出 解決すべき課題と市場開拓の可能性

経済成長の続く東南アジアは、人口7億人を超える巨大な市場になろうとしています。日本との経済的関係も深く、多くの日本企業が進出してきました。日本産食品の輸出先としても注目されていますが、持続的な販路を構築することは簡単ではありません。東南アジア諸国で長年実務に携わってこられたお二人に、日本産食品輸出の課題と可能性についてお話していただきます。

参加無料
事前申込制

2021年3月7日(日) 13:00~14:30
Zoomによるオンライン配信

- ◆ビデオ会議アプリ「Zoomウェビナー」を利用し、事前に申し込まれた方にオンライン配信をします。
- ◆本講座の録音、録画、撮影はご遠慮ください。

お申込み：以下のURLまたはQRコードからお申し込みください
<https://req.qubo.jp/livinglabs-shizuoka/form/hVJtimwc>



(申込はこちらから)

◆前日までにZoom情報をお送りいたします。

申込締切：3月5日(金) 15:00

(HPはこちらから)

お問合せ：静岡県立大学 健康食イノベーション推進事業事務局
kenkoshoku@u-shizuoka-ken.ac.jp



プログラム

13:00 開会

川端様ご講演
永田様ご講演

14:00 質疑応答

14:30 閉会

パネリストのご紹介



「東南アジア市場の現状と今後の成長 各国別データ」
川端 隆史 氏
(Senior Vice President, Kroll Associates Singapore)



「食品専門商社の実務者に聞く、日本食品の輸出事業」
永田 俊司 氏
(株式会社 交洋 輸出グループ アジアアフリカチーム、
元JETROシンガポール事務所 経済連携促進アドバイザー)